

愛の神の怒り

神の愛と怒りは密接に関連しており、「神の怒り」は、神の正義と愛の現れとして記されています。これは人間の怒りとは異なり、衝動的や感情的なものではなく、罪や不義に対する神の正当な行いです。

ネヘミヤ	13:18b あなたたちは安息日を汚すことによって、またしてもイスラエルに対する神の怒りを招こうとしている。」
ヨブ	20:28 神の怒りの日に、洪水が起こり/大水は彼の家をめぐり去る。
ダニエル	9:13 モーセの律法に記されているこの恐ろしい災難は、紛れもなくわたしたちを襲いました。それでもなお、わたしたちは罪を離れて主なる神の怒りをなだめることをせず、またあなたのまことに目覚めることもできませんでした。
ヨハネ	3:36 御子を信じる人は永遠の命を得ているが、御子に従わない者は、命にあずかることがないばかりか、神の怒りがその上にとどまる。」
コロサイ	3:6 これらのことのゆえに、神の怒りは不従順な者たちに下ります。
黙示録	14:10 その者自身も、神の怒りの杯に混ぜものなしに注がれた、神の怒りのぶどう酒を飲むことになり、また、聖なる天使たちと小羊の前で、火と硫黄で苦しめられることになる。
	15:1 わたしはまた、天にもう一つの大きな驚くべきしるしを見た。七人の天使が最後の七つの災いを携えていた。これらの災いで、神の怒りがその極みに達するのである。
	15:7 そして、四つの生き物の中の一つが、世々限りなく生きておられる神の怒りが盛られた七つの金の鉢を、この七人の天使に渡した。
	16:1 また、わたしは大きな声が神殿から出て、七人の天使にこう言うのを聞いた。「行って、七つの鉢に盛られた神の怒りを地上に注ぎなさい。」

○神の怒りは、

1. **正義に基づく**：神の怒りは、単なる罰ではなく、道徳的な堕落や罪に対する現れです。神は完全に義であり、罪を容認することができません。

→詩編 5：5a あなたは、決して／逆らう者を喜ぶ神ではありません。

→ローマ 1：18 不義によって真理の働きを妨げる人間のあらゆる不信心と不義に対して、神は天から怒りを現されます。

2. **愛と赦し**：神は愛であり、その愛から罪を憎みます。神の怒りは最終的に人々を救い、悔い改めへ導くための手段です。

→Iヨハ 4：8 愛することのない者は神を知りません。神は愛だからです。

3. **憐れみと忍耐深さ**：神はすぐに怒りを現すのではなく、人々に悔い改めの機会を与えることを望んでいます。

→詩編 103：8 主は憐れみ深く、恵みに富み／忍耐強く、慈しみは大きい。

○愛の表現である神の怒りの理由は、

神の怒りは、神の愛から生まれるものです。神は人類を愛しているため、罪が人々に与える破壊的な影響を憎みます。そのため、神の怒りは人を罰するためだけではなく、正しい道に戻すための手段でもあります。

1. **罪を裁くため**：罪や不義を裁き、正義を保つ。

2. **悔い改めへの招きのため**：人々に罪を自覚させ、神のもとに立ち帰るよう促す役割を果たします（エゼキエル 33：11）。

→エゼキエル 33：11 彼らに言いなさい。わたしは生きている、と主なる神は言われる。わたしは悪人が死ぬのを喜ばない。むしろ、悪人がその道から立ち帰って生きることを喜ぶ。立ち帰れ、立ち帰れ、お前たちの悪しき道から。イスラエルの家よ、どうしてお前たちは死んでよいだろうか。

3. **救いのため**：愛と救いの計画。

→ローマ 5：8～9 しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。それで今や、わたしたちはキリストの血によって義とされたのですから、キリストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。